
工) 充電WG検討結果

1 充電ニーズから見た伊勢市における充電インフラ整備の考え方

■ EV等の利用方法別の充電ニーズを踏まえ、充電器設置は以下の考え方をもとに進める。

	分類	充電ニーズ	整備の考え方
観光客	①EV等を伊勢市で借りる (シェアリング、レンタカー)	市域が狭く電欠の心配が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ● 伊勢市内でEV等の利用を考える場合、移動距離が大きくなることから、充電ニーズはそれ程大きくなる ● 観光客や市民等の電欠の不安軽減が充電インフラ整備の目的となる
	②EV等で伊勢市を訪れる (EV等オーナー)	安心して観光するには、到着後直ちに充電が必要	
市民	③伊勢市でEV等を保有する (EV等オーナー)	自宅等で充電できるため、優先的な整備は不要	
交通事業者	④EV等による交通サービスを行う (バス・タクシー)	事業所その他、待機場での充電ニーズが発生	

2 充電スポット整備の基本方針

- 一般利用者に開放する充電器(住宅用や事業所用以外)については、以下の方針により整備する。

充電器の種類		
	<ul style="list-style-type: none">● 普通充電器(ポール型普通充電器)の設置を基本● 急速充電器は、既設のものを効果的に活用しつつ、主にEV等オーナー(観光客、市民)向けに最低限の整備を実施	
場所	普通充電器	<ul style="list-style-type: none">● 主要観光拠点● EV等の発着拠点● 大規模集客施設
	急速充電器	<ul style="list-style-type: none">● 広域アクセス性が高く、観光客を誘導したい主要観光拠点を選定● 急速充電器設置のガイドラインを有する大型商業施設等
	その他	<ul style="list-style-type: none">● 上記の他、補助金等を活用し、自主的に設置を希望する施設等への充電器設置を促進● EV等で訪れやすい観光地とするため、名古屋・大阪から伊勢市への経路上における充電スポットの整備を要請

課金

- 原則的に充電に対する料金を聴取
- 顧客困り込みのため料金サービス実施については設置場所の管理・運営者裁量とする

費用負担

- 本体及び設置費用等は設置場所の管理・運営者が負担
- 経済産業省「次世代自動車充電インフラ整備促進事業(平成24年度補正予算)」を効果的に活用

その他

- 超小型モビリティに関する充電器設置場所(貸出ステーション)については別途検討

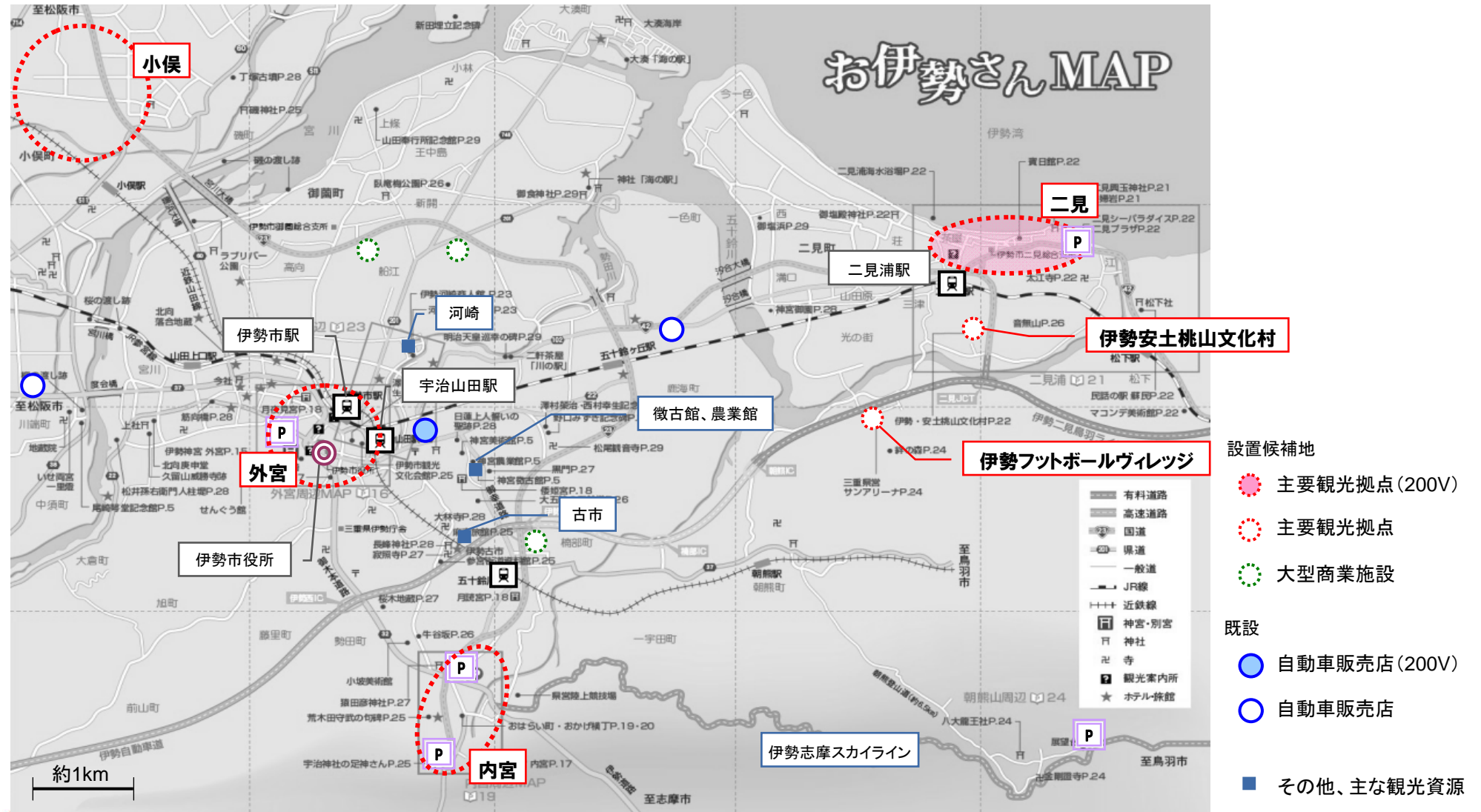
3-1 普通充電器の設置場所

	設置場所	ねらい
主要観光拠点	<ul style="list-style-type: none"> ● 二見周辺 ● 外宮周辺 ● 内宮周辺 	<ul style="list-style-type: none"> ● 充電器を設置することにより誘導を図るとともに、禊ぎの地としての二見浦や正式な神宮参拝の方法を観光客に認知させる
EV等の発着拠点	<ul style="list-style-type: none"> ● 小俣 	<ul style="list-style-type: none"> ● 馬を返して参宮する昔話をEV等で再現するもので、普通自動車で来た観光客がEV等により乗り換えて伊勢観光する
	<ul style="list-style-type: none"> ● 伊勢安土桃山文化村 	<ul style="list-style-type: none"> ● 公道外という特性を生かしたEV等の実験場となり、園内を走行するEV等の充電器を設置する
大規模集客施設	<ul style="list-style-type: none"> ● 伊勢フットボールヴィレッジ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 神宮参拝のシャトルバス発着地

3-2 急速充電器の設置場所

	設置場所	ねらい
広域アクセス性が高く、観光客を誘導したい 主要観光拠点	● 二見周辺	● 伊勢自動車道および伊勢二見鳥羽ラインによるアクセス利便性が高く、二見浦→外宮→内宮という観光行動を誘導
充電器設置のガイドラインを有する大型商業施設等	● イオン伊勢店等	● 市民のEV等の利便性を向上

3-3 充電器設置場所イメージ



4-1 充電スポットの場所選定について

- 充電スポットは、365日・24時間使用可能であり、目的地から近く便利な場所を選定することが望ましい
- 平成25年の式年遷宮には1,000万人もの観光客の入り込みが予想されており、外宮や内宮、二見浦等により近い場所を選定すれば、一般の観光客にEV等と充電器を見せることができるため、伊勢市の取り組みに対する効果的なPRが可能となる
- 一方で、充電スポット到着までに渋滞に巻き込まれ、電欠の危険にさらされるとともに、充電を急ぐEV等が路肩走行等することで事故等の発生が懸念される
- したがって、充電スポットの場所選定については、今後、効果と課題を評価しながら検討していく必要がある

4-2 主要観光拠点における充電器の設置候補地(二見周辺)

候補地	メリット	デメリット
参拝者駐車スペース (国管理、無料)	<ul style="list-style-type: none"> 参拝者の最寄り駐車場 	<ul style="list-style-type: none"> 休日は満車になり、駐車待ちの渋滞が発生
二見プラザ駐車場 (民営・休日有料)	<ul style="list-style-type: none"> 夫婦岩に隣接した観光施設 有料駐車場であり管理しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> 管理者のEV等活用に対する意思を未確認
生涯学習センター駐車場 (市営・無料)	<ul style="list-style-type: none"> 観光案内所があり管理しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> 二見興玉神社まで約1000m
民話の駅蘇民 (市営・無料)	<ul style="list-style-type: none"> 市が運営する観光施設 	<ul style="list-style-type: none"> 二見興玉神社まで1km以上 産直物販のみの施設であり滞在時間が短い



4-3 主要観光拠点における充電器の設置候補地(外宮周辺)

候補地	メリット	デメリット
外宮前駐車場 (神宮管理・無料)	<ul style="list-style-type: none"> 外宮の駐車場 EV等をPRするのに最適 	<ul style="list-style-type: none"> 参拝者からの料金聴取は困難 夜間管理が難しい
市役所駐車場 (市営・有料)	<ul style="list-style-type: none"> 休日は参拝客向けに解放 	<ul style="list-style-type: none"> 平日は駐車場が不足 外宮まで約300m
伊勢市駅周辺	<ul style="list-style-type: none"> EV等の拠点(案内所、ショーケース等) 参道活性化が期待 	<ul style="list-style-type: none"> 駐車用地の確保



4-4 主要観光拠点における充電器の設置候補地(内宮周辺)

候補地	メリット	デメリット
内宮駐車場 (市営・有料)	<ul style="list-style-type: none"> 内宮の最寄り駐車場 EV等をPRするのに最適 	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場までの渋滞が著しく、EV等専用レーンの整備・誘導も困難
浦田駐車場 (市営・有料)	<ul style="list-style-type: none"> 内宮・おはらい町観光の主要駐車場 内宮駐車場ほどの渋滞がない 	<ul style="list-style-type: none"> 休日は満車になり、駐車待ちの渋滞が発生
県営総合競技場駐車場 (県有地・無料)	<ul style="list-style-type: none"> 内宮の臨時駐車場として利用 休日にもスムーズにアクセス可能 	<ul style="list-style-type: none"> おはらい町を經由して宇治橋まで約700m EV等導入のアピールにならない
神宮会館 神宮参拝者駐車場 (伊勢神宮崇敬会運営・有料)	<ul style="list-style-type: none"> 内宮・おはらい町から近い 	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場までの渋滞が懸念 EV等導入のアピールにならない



5 EV等を上手く使える環境づくりに向けて

- EV等利用者、充電器設置者の双方にメリットを提供することで、充電器の普及を図り、伊勢市を通行するEV等が増加する好循環を創出していくことが必要である。そのため、今後、メリット創出のための方策について検討していく。

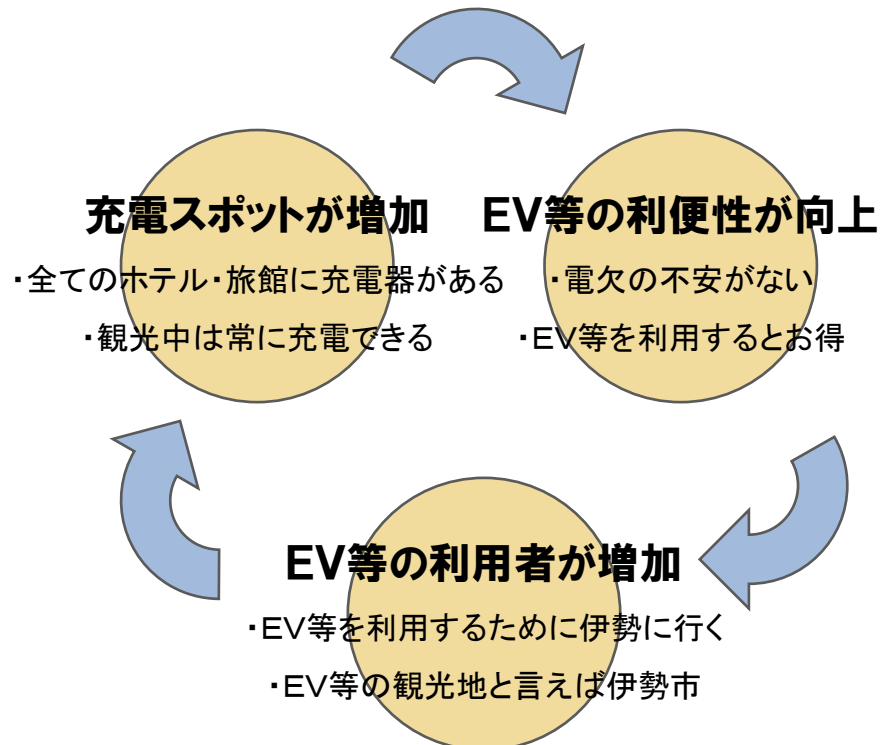
EV等利用者のメリット

- 充電スポットが多く、電欠の不安がない
- 観光や食事中に充電できる
- 充電スポットの場所情報が入手しやすい
- EV等利用者限定の特典がある
- EV等利用者相互のコミュニケーションツールとなる 等

充電器設置者のメリット

- 設置補助や充電収入等により充電器設置負担が小さい
- EV等利用者から宿泊・食事・観光の場として選択される
- 様々な媒体でPRされる
- エコに貢献する施設として評価される
- EV等利用者の行動をマーケティングに活用できる 等

充電スポットの充実による好循環のイメージ



6-1 経済産業省「次世代自動車充電インフラ整備促進事業」の活用について

- 式年遷宮のある平成25年度においてEV等に関する事業推進は絶好のPRの機会となることから、経済産業省平成24年度補正予算を活用して、スピード感を持って効果的に充電スポットを整備する。
- 普通充電器および急速充電器の設置場所として指定した場所については、早急に候補地を決定して設置を進める。
- この他、充電スポットの普及を図るように、事業者による自主的な整備を促進するための仕組みをつくる。具体的には、民間事業者が管理・運営する観光施設、ホテル・旅館、飲食店・土産店、有料駐車場等を利用者の特定されない公共性の担保される場所として想定し、関係する団体等に充電器の設置の希望を打診する。
- なお、ご当地どんぶり「御饌井」参加店全店が参加等、充電器整備により伊勢市観光の魅力が向上すると考えられる団体等への打診についても検討する。

□「次世代自動車充電インフラ整備促進事業(経済産業省)」 ※平成24年度補正予算:1,005億円

- EV及びPHV用の充電インフラの設置にかかる補助金(単年度限りの執行ではない)
- これまでのCEV補助金では、購入費の1/2補助のみであったところ、ある一定の要件を満たす充電器については、購入費及び設置工事費の2/3(又は1/2)を補助

※コンセント式普通充電器購入については対象外

- ・自治体等が策定するビジョンに基づく充電器(主に急速):購入費及び工事費の2/3
- ・自治体等が策定するビジョンには基づかないものの公共性を有する充電器(急速、普通):購入費及び工事費の1/2
- ・マンションの駐車場及び月極駐車場へ設置する充電器:購入費及び工事費の1/2
- ・それ以外の充電器:購入費の1/2

6-2 次年度に行うべき検討事項

- 平成25年度に充電スポットを整備していく上で、今後、以下の事項について早急に検討を行う。

設置地点の選定

- 経済産業省「次世代自動車充電インフラ整備促進事業」を活用して平成25年度に設置するポイントについて、所有者の意向を確認しつつ、設置場所の絞り込みと設置基数を決定する

課金方法

- コストおよびシステム運用等の観点から課金・認証方法と料金を検討する
- 特に全ての利用者が決済可能な仕組みをつくる

優遇策

- EV等利用者にメリットを提供する駐車場位置や利用者特典等を検討する

案内誘導

- カーナビやスマートフォン、案内版等、EV等利用者が円滑に到達できる案内誘導のあり方を検討する

8 役割分担

	短期(～3年)	中長期(3年～10年)
三重県 伊勢県民センター	<ul style="list-style-type: none"> ● 国への各種申請、調整 ● 情報収集・提供 	
伊勢市	<ul style="list-style-type: none"> ● 充電スポット設置に係るビジョン作成 ● 市役所敷地内における充電器設置 ● 案内誘導サインの設置 	
商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ● 会員企業への設置呼びかけ 	
観光協会	<ul style="list-style-type: none"> ● 充電スポット利用者特典の検討、調整 ● 充電スポット情報のPR 	
鉄道事業者	<ul style="list-style-type: none"> ● 鉄道からEV等へ乗り換えする観光客への案内誘導 	
バス事業者	—	<ul style="list-style-type: none"> ● EV等バスの導入に合わせた充電器の設置
タクシー事業者	—	<ul style="list-style-type: none"> ● EV等タクシーの導入に合わせた充電器の設置

	短期(～3年)	中長期(3年～10年)
レンタカー事業者 駐車場事業者	—	● EV等レンタカー車両の導入に合わせた充電器の設置
観光施設 小売店・飲食店	● 利用者特典の提供	
宿泊施設	● 宿泊とシェアリングによる割引サービス実施	
旅行代理店	● 充電スポット情報等の発信 ● 充電器を活用した誘客・集客・創客モデルの構築 ● 認証カードを活用したEV等利用者向け特典および顧客囲い込み方策の検討	● EV等オーナーに対する観光誘客の推進
自動車メーカー 自動車販売店	● 充電器設置に関する支援(情報提供等) ● EV等試乗会の開催、車両提供	● EV等オーナーに対する観光誘客の推進
充電器メーカー	● 充電器設置に関する支援(情報提供等) ● 充電スポット情報および利用情報の集約 ● 認証・決済システムの構築支援 ● 充電器の供給	

9 スケジュール

